

みずほCustomer Desk Report 2018/03/09 号 (As of 2018/03/08)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.14
TKY 9:00AM	106.18	1.2412	131.77	1.3901	0.7827
SYD-NY High	106.32	1.2446	131.97	1.3910	0.7839
SYD-NY Low	105.90	1.2298	130.53	1.3781	0.7773
NY 5:00 PM	106.25	1.2311	130.73	1.3814	0.7786
NY DOW	24,895.21	93.85	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,427.95	31.30	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,738.97	12.17	米国2年債	2.2478	▲0.41bp
日経平均	21,368.07	115.35	米国5年債	2.6275	▲2.02bp
TOPIX	1,709.95	5.99	米国10年債	2.8562	▲2.38bp
シカゴ日経先物	21,535	335.00	独10年債	0.6270	▲2.55bp
ロンドンFT	7,203.24	45.40	英10年債	1.4725	▲2.00bp
DAX	12,355.57	0.00	豪10年債	2.8065	0.25bp
ハンセン指数	30,654.52	457.60	USDJPY 1M Vol	8.10	▲0.54%
上海総合	3,288.41	16.74	USDJPY 3M Vol	8.46	▲0.31%
NY金	1,321.70	▲5.90	USDJPY 6M Vol	8.65	▲0.25%
WTI	60.12	▲1.03	USDJPY 1M 25RR	-1.13	Yen Call Over
CRB指数	193.66	▲0.78	EURJPY 3M Vol	8.56	▲0.37%
ドルインデックス	90.12	0.49	EURJPY 6M Vol	8.88	▲0.28%

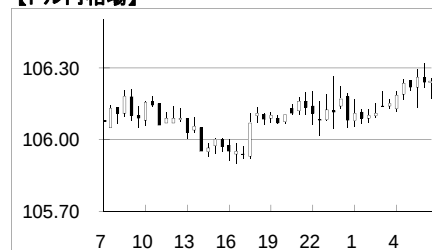
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月8日	8:50	日 経常収支	1月 ¥607.4b	¥437.4b
	8:50	日 GDP(確報/年率/前期比)	4Q 1.6%	1.0%
21:45	欧 ECB理事会(主要政策金利/限界貸付金利/預金ファシリティ金利)	-	0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
22:30	欧 ドラギECB総裁「政策金利について」債券購入終了後も、相当期間現行水準に留まる」			
22:30	米 新規失業保険申請件数	-	231k	220k

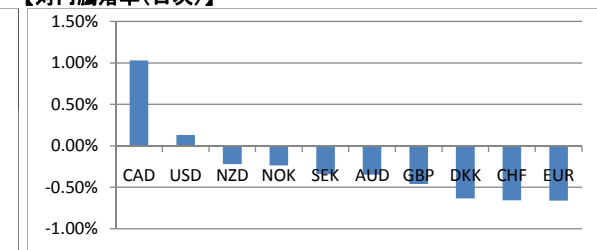
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月9日	10:30	中 PPI(前年比)	2月 3.8%	4.3%
	10:30	中 CPI(前年比)	2月 2.5%	1.5%
	日 日銀 金融政策決定会合 政策金利		-0.10%	-0.10%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化(前月比)	2月 205k	200k
	22:30	米 失業率	2月 4.0%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.8%	0.3%/2.9%
3月10日	2:40	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演		
	2:45	米 エバンズ・シカゴ連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.70-106.70	1.2240-1.2340	130.20-131.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円はやや上昇。トランプ米大統領が鉄鋼やアルミニウム輸入関税措置に署名したものの、カナダやメキシコが除外されたこと等から、過度な保護主義への警戒感が和らぎ、ドル円は106円前半で堅調に推移した。本日のドル円はレンジ内で推移すると予想。夜の米2月雇用統計の発表を控え、様子見ムードの強い展開が予想され、ドル円は106円台前半で方向感なく推移しそうだ。

東京	朝方、トランプ米大統領が鉄鋼・アルミに対する関税措置に署名するとの報道があって警戒感が高まるなか、東京時間のドル円は106.18でオープン。その後、高寄りした日経平均株価が次第に上げ幅を縮小したことも手伝い、円が強含む展開。ただし、値幅は限定的で、ドル円は105.93まで値を下げた後、106.00レベルにてロンドンへ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.00でオープン。ドラギ総裁会見やトランプ大統領の輸入関税署名への警戒感から狭いレンジでの推移となり、安値105.90をつけるも下値は限定的で106.14レベルまで戻してNYに渡った。ユーロは、1.2405レベルでオープン。注目されたECB理事会で、主要政策金利を据え置く一方で、「必要に応じQEの規模拡大」との文言が削除されると、テバリング観測が強まり、1.2431まで買われ、1.2410レベルでNYに渡った。ポンドは、1.3899レベルでオープン。欧州委員会が、交渉期限までにEUと英国が何も合意できないまま離脱するシナリオを想定していると示唆したことで、1.3853まで下落し、1.3876レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	106.14レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想をやや上回ったものの、ドラギECB総裁の記者会見を控え、ドル円の反応は限定的。その後はドル買いが優勢となり106.26まで上昇するが、ユーロ円が下落する動きに上値を抑えられ、106.10付近での推移が続く。午後はトランプ大統領が鉄鋼・アルミ輸入関税の文書に署名。その後の会見では、カナダ・メキシコはNAFTA再交渉における米国の交渉相手であるという位置づけから適用外とすること、他の貿易相手国も関税適用外を求める選択肢があると発言すると、ドル買い優勢となりドル円は高値106.32まで上昇する。その後は金曜日の米2月雇用統計、日銀金融政策決定会合を控え、狭いレンジでの推移が続く。106.25レベルでクロスした。一方、ユーロは1.2410レベルでNYオープン。8時半から開始されたドラギ総裁の記者会見で、今年のGDP予想が2.3%から2.4%へ上方修正され、QEに関する文言の変更が全会一致であったことが伝わり、ユーロは1.2446まで上昇する。しかし、他の政策変更に関してあまり議論しなかったことや、インフレについてもまだ勝利宣言できないとの発言を受けると、ユーロは反落。その後も、ドラギ総裁の記者会見の内容が予想したほど外派ではなかったとの見方から、ユーロ売りが継続した。終盤に掛けては散散な推移が続く。安値1.2298をつけた後、1.2311レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:ウー坂本